

## 「やす市議会だより」No.67の訂正とお詫びについて

「やす市議会だより」No.67（令和3年8月1日発行）の8ページ下段に掲載しました橋俊明議員の「一般質問」の中で、橋議員のはじめの問に対する市長の答弁（紙面では「答」と表記）において、表記の間違ひがありましたので、訂正のお知らせをいたしますとともにお詫びいたします。

最大10億5千万円と市長が答弁していましたが、最大1億5千万円と紙面に誤記していたものです。

### （正）

問 市長就任から7か月の病院の混迷した状況の新聞記事に関して、市長の思いを伺う。

答 市長に就任後7か月、当時の計画の対案とした現地建て替え案を断念し、3か所の候補地を提案した。各候補地に課題があるが、駅前に病院を整備することは財政面で社会資本整備総合交付金、駅前Bブロックが最大10億5千万円の交付が可能であること、他の箇所では病院事業債の一括償還が必要となることからBブロックを選定した。

### （誤）

問 市長就任から7か月の病院の混迷した状況の新聞記事に関して、市長の思いを伺う。

答 市長に就任後7か月、当時の計画の対案とした現地建て替え案を断念し、3か所の候補地を提案した。各候補地に課題があるが、駅前に病院を整備することは財政面で社会資本整備総合交付金、駅前Bブロックが最大1億5千万円の交付が可能であること、他の箇所では病院事業債の一括償還が必要となることからBブロックを選定した。

# 一般質問



一般質問  
映像配信は  
こちらから



工藤 義明

## ◎コロナ感染拡大防止とワクチン接種

**問** 無症状者に焦点を当てた大規模PCR検査で、感染拡大を封じ込めることが重要である。クラスター発生に対する対策はしているのか。

**答** どこの市町でも発生の可能性はあると考えている。現状では濃厚接触者等を特定して、感染拡大防止対策や、ワクチン接種促進が肝要である。

**問** 高齢者施設等で一度クラスターが発生すれば、大変な事態を招く。未然に防ぐための最大予防策として大規模PCR検査が必要だ。

**答** 現状では人材も財源も限られている。PCR検査を多くの方に実施するより、ワクチン接種を早期に完了することが急務と考える。

**問** 64歳以下へのワクチン配分量が発表されたが、4箱(約4,000回分)は近隣市のなかでも極端に少ない。

**答** 確かに4箱は少ない。場合によっては、今後モデル

ナ製のワクチンについても取り扱いの検討が必要と考えている。

**問** 秋には総選挙と市議会議員選挙が重なることが予測される。密となる会場で同時開票作業には感染防止対策が必要。

**答** 密になるが事前の啓蒙<sup>けいもう</sup>・手指消毒・体調の管理・マスク着用でできる限りの対策を計画。

## ◎コミセンやすのバリアフリー拡充

**問** 夜間利用者は正面玄関でなく、裏口の出入口利用の為、初めて利用する方はうろろうされている。また、裏の出入口はドア幅も狭く、段差もあり、夜間は暗い。車イス利用者をはじめ、市民に優しい状態ではない。バリアフリー化及び正面玄関側利用に改善すべきである。

**答** 正面側の自動ドアは施錠され、裏の通用口を利用している状況。指摘の通り2段の段差、また扉の有効幅も確保できていない。バリアフリー対策化で検討した結果、正面側の自動ドアから出入りできるよう鍵を変更し、7月末までには完了計画をする。

**問** 指摘があれば現状を確認し、率先して行政側から改善提案をすべきで、待つ市政は改めるべき。

**答** コミセンは指定管理をしている。話し合い、予算の範囲、状況について対応していくのが本筋と考える。

## その他 デジタル行政推進の功罪について



一般質問  
映像配信は  
こちらから



橋 俊明

## ◎野洲市民病院の動向について

**問** 市長就任から7か月の病院の混迷した状況の新聞記事に関して、市長の思いを伺う。

**答** 市長に就任後7か月、当時の計画の対案とした現地建て替え案を断念し、3か所の候補地を提案した。各候補地に課題があるが、駅前到医院を整備することは財政面で社会資本整備総合交付金、駅前Bブロックが最大1億5千万円の交付が可能であること、他の箇所では病院事業債の一括償還が必要となることからBブロックを選定した。

**問** 5月10日の病院整備事業特別委員会では当初計画の駅前Aブロックを選定候補地として加えることを賛成12名、反対4名で可決した。その思いをどのように考えているのか。

**答** 可決されたことで、要望という形で受け取った。選挙以来、Aブロックで病院を整備することはしない。にぎわいを創出することを目的とすることを申し上げている。

**問** 5月17日の運営評価委員会では駅前Aブロックは職員を確保する上でも有利であり、収支経営上も望ましい。また市のマスタープランより、適正な土地を決めるべきで、今までの流れで駅前Aブロックが良い。目標年次で開院を検討するのであれば、駅前Aブロックを再度検討すべきではないかなど、Aブロックを推す意見が多かった。しかし翌日の新聞ではBブロックは細長くて無理だ、また駅前にすると選挙で私に投票した人を裏切ることになると駅前整備を改めて否定していることから、郊外整備に流れは傾きかけたと報じている。一転5月28日の特別委員会では駅前周辺、現実にはBブロックを提案された。駅前Bブロックになった要因は何か。

**答** 野洲市の財政状況が非常に悪く、先述のとおり財政上の判断によるものである。